

国際親善総合病院
病院だより

NO. 259
Summer
 2019.7



皮膚科診療のご案内	2	メディカルレシピ	6
JMIP審査内容・結果報告	2	あなたの街のお医者さん	7
病院機能評価の更新認定を受けました	3	INFORMATION	7
看護部紹介	4	れんけいニュース	8
病院のできごと	5		

病院の理念
 良質な医療の実施
 親切な医療の実施
 信頼される医療の実施

高齢者の熱中症予防

高齢者の熱中症は暑さに我慢強くあるいは鈍感になってエアコンを使用せず、さらに水分塩分の補充不足も加わり発症することが多く、時に重症化する傾向があります。汗をかかなくても水分は皮膚から逃げていき、暑いとその量はどんどん増え脱水になります。屋内ではエアコンを積極的に使用し、炎天下の外出は可能な限り控えて下さい。また尿が濃く量が少ない場合はすでに脱水徴候が出ているので水分塩分を積極的に摂取する必要があります。腸からの水の吸収は塩分と糖分が適量あると効率が良いので、特に炎天時の熱中症予防には経口補水液をこまめに飲むのがベストです。水やお茶、スポーツドリンクでは塩分が不足し水の吸収効率も悪く、熱中症予防には不十分ですのでご注意ください。





皮膚科診療



のご案内



皮膚科 医長
李 民

2008年に初期臨床研修終了後に皮膚科を専門として、大学附属の4病院で10年余りに亘り皮膚科の基礎を学び、外来および病棟の診療・皮膚腫瘍手術・皮膚病理・アレルギー・美容など幅広い領域を経験しました。学会発表も積極的に参加し、2013年に皮膚科専門医を取得しました。国際親善総合病院と縁があり、今年4月から着任いたしました。今まで得た技術や経験を活かし、患者さんの立場に立ち、より良い医療を提供できるように努めてまいりたいと思っております。

皮膚疾患全般に対して皮膚科疾患ガイドラインに準じた診療をしております。午前は外来診療、午後は皮膚生検・皮膚腫瘍の手術・パッチテストなどアレルギー検査・陥入爪の治療・美容の自費診療（ニキビのケミカルピーリング

グ、レーザー脱毛、シミのレーザー治療）など予約制で行っております。

皮膚に生じる病気は、内臓疾患の一つの症状として現れることもあるため、原因検索を常に念頭に置いて適切な検査を行うことを心掛けています。院内他科と密に連携し、また重症症例や当科で対応できない専門性の高い医療が必要な場合は近隣大学病院へ紹介させていただきます。

皮膚、爪、頭髮などのことで何かあれば、是非お気軽にご相談ください。



皮膚科スタッフ

JMIP

を受審いたしました

外国人患者対応検討委員会

委員長 佐藤 道夫

一般財団法人 日本医療教育財団 外国人患者受入れ医療機関認証制度

Japan Medical Service Accreditation
for International Patients (JMIP)

目的：外国人が安心・安全に国際的に高い評価を得ている日本の医療サービスを楽しむことができる体制を構築します。

平成31年4月24日、25日の2日間「外国人患者受入れ認証制度（JMIP）」を受審いたしました。当院が受審を目指した目的は「地域的にも社会福祉法人の使命としても日本在住外国人患者さんへの機能的な対応が求められており、意思疎通をさらにスムーズにして診療のみならず、検査や事務手続きなど院内での患者導線をサポートする体制の構築」のためです。

JMIP認証のため、各部門（診療部門、看護部門、薬剤部門、診療技術部門、事務部門）にて構成された委員会を立ち上げ、委員会が中心となって準備を始めました。状況に応じて各部署の担当者評価項目に沿って打合せをしながら、マニュアルの作成、書類の整備、院内表示の整備、会話するためのツールの整備など必要な準備を進



病院機能評価の 更新認定を 受けました

2018年11月に公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価の受審をしました。

病院機能評価とは病院組織全体の運営管理および提供される医療について、中立的、科学的・専門的な見地から評価を受けて定期的に質改善することを目的としています。

今回で5回目の更新受審となりましたが、定める認定基準を満たして無事更新することができました。これからも地域に根ざして良質で親切的信頼される医療サービスを提供すべく、日常的に努力していきたいと考えております。



めでていきました。受審を無事に終えて現在は、訪問調査の際にご指摘いただいた内容やアドバイスを整理して1つずつ改善していくことが目標です。

5月末に中間結果が届き、「要改善に当たる項目はありません。」と報告を受けております。最終判定の結果認証となれば神奈川県では4番目、横浜市においては2番目のJMP認証病院となります。

これからも国籍問わず良質、親切、信頼される医療を提供できるよう努めてまいります。

【評価項目】

1 受入対応	1-1 外国人患者に関する情報と受入れ体制 1-2 医療費の請求や支払いに関する対応
2 患者サービス	2-1 通訳（会話における多言語対応）体制の整備 2-2 翻訳（文章での多言語対応）体制の整備 2-3 院内環境の整備 2-4 患者宗教・習慣の違いを考慮した対応
3 医療提供の運営	3-1 外国人患者への医療提供に関する運営 3-2 説明と同意（インフォームドコンセント）
4 組織体制と管理	4-1 外国人患者対応の担当者または担当部署の役割 4-2 安全管理体制
5 改善に向けた取り組み	5-1 院内スタッフへの教育・研修 5-2 外国人患者の満足度



看護部紹介

看護部理念

- ・心のもったあたたかい看護
- ・個人を尊重した看護
- ・責任のある看護



今回は、看護部の紹介をさせていただきます。外来から入院、手術を受ける患者さんを通して各部署の看護をお伝えします！

診察の流れと看護

新患受付

看護内容

必要時受診科の相談

各部署受付

問診・日常生活動作・介護サービスの確認
必要時サービス調整の実施

診察

症状に合わせたトリアージ・医師との調整

検査

受診・入院・手術決定

入院問診表の聴取・アレルギーの確認
入院・手術オリエンテーション
中止薬の確認や検査の説明、同意書の確認
日常生活動作や認知症状の確認
家族の来院調整

入院

外来紹介

外来看護は診察・処置の介助や問診、疾患に関する指導などを実施しています。また、外来の対応だけでなく、安心して入院していただけるようにオリエンテーションや手術の準備や説明も行っています。患者さんの生活状況を確認し、必要時は患者さん・ご家族の方以外にも地域の関連職種との連携や調整を行っています。

外来A

外来A師長 鈴木 千夏

外来看護師として大切にしていること

患者さん一人ひとりと関われる時間は短くても、お話の中で不安をお聞きするなど、こころのケアを大切にしています。また、「その人らしい生活」を地域で長く送れるように医師と連携してケアを行っています。



看護外来

看護外来は、医師の指示のもとそれぞれの領域の資格を持った看護師が中心となって、患者さんの療養生活を支えるために専門性の高い看護の実践に取り組んでいます。ご希望の際は、各診療科医師にご相談ください。

- ・泌尿器科特殊外来
- ・糖尿病外来
- ・WOC外来
- ・リンパ浮腫外来
- ・フットケア外来
- ・助産師外来
- ・すくすく外来

※ 詳しい内容は外来でお尋ねください。

新人紹介

2019年（令和元年）新人紹介

—新時代を担う看護師たちを紹介します—

今年は25名の新人看護師が入職しました。4月の入職翌日から2週間の集合研修期間を経て、部署配属となりました。今年のキーワードは「チームワーク」です。研修では「その人らしさを大切にチームの一員として患者さんにご家族を支えたい」と、目指す看護について語り合いました。自信を持って看護ケアを提供できるよう日々努力していますので、どうぞよろしくお願いいたします。

教育担当師長 新田 真樹



4A病棟

4A病棟師長 牧野 祐子

〈部署紹介と入院から

手術、術後の経過〉

4A病棟は、消化器系疾患や、静脈瘤やASO（閉塞性動脈硬化症）などの血管外科など様々な手術を受けられる患者さんの看護を中心として行っている病棟です。

手術を受ける患者さんは、入院後、手術のオリエンテーションや術前検査を行い手術を迎えます。術後は疼痛コントロールを図りながら積極的

に離床を進め、早期退院を目指します。

〈病棟看護師として

大切にしていること〉

私たちは、患者さんが手術を最善の状態を受けられ、術後が順調に回復できるように外科の専門性を活かした看護の実施を目標としています。そして、がんの告知を受けた患者さんとご家族の思いを受け止め、共に病気に立ち向かいたいと思っています。

入院後のスケジュール（一例）

☆ 入院当日

- 10:00 入院 病棟で入院・手術オリエンテーション
シャワー浴
- 21:00 必要時下剤内服 以降禁飲食

☆ 手術当日 予定時間に手術室へ

☆ 手術後1日目

- 6:00 起床
- 8:40 回診
清潔ケア、離床の準備、看護師と初回歩行
歩行もしくは車いすでレントゲン撮影
- 午後 歩行練習など



中央手術材料室

中央手術材料室師長

澁谷 勲

〈手術室紹介〉

周術期看護は手術を受ける患者さんの術前、術中、術後の全期間で行われるケアで、手術室看護師は主に手術室内でのチーム医療のキーパーソンとしての役割を担っています。患者さんのその時々状況に心じて的確に状況を把握し、質の高い手術医療を受けられるよう最善を尽くします。

〈手術室看護師として

大切にしていること〉

「まな板の上の鯉だからね」と手術を受ける患者さんからよく聞かれる言葉ですが、言葉の裏側には様々な不安や緊張、悩みなどを抱えていると考えられます。手術を受ける患者さんやご家族の思いに寄り添い、少しでも不安が軽減できるような支援ができるように努めています。



4月1日(月)

新入職員を迎えました

入 職 式

今年度は56名が入職しました。新しい戦力として各部署で大いに力を発揮していただき、地域の皆さまのご期待に応えられるように日々精進してまいります。



6月6日(木)

健康管理できていますか？

看護フェスティバル

今年も皆さまにご好評いただいている「看護フェスティバル」を開催いたしました。血圧・血糖測定や看護相談、栄養相談コーナーを設け、さらに各看護部署の紹介や認定活動状況を掲示物や食事のレシピやサンプル品、各種パンフレットなど多くの情報をご提供させていただき、盛況となりました。



5月15日(水)

横浜市東区中川地区センターにて

第23回 しんぜん院外健康教室

本日は尿のトラブル原因となる症状（過活動膀胱、前立腺肥大症）を取り上げて講演をいたしました。日常生活の中で出来る治療には生活習慣改善や膀胱訓練等がありますが、アンケートのご意見に試したことはありませんが長続きしなかったため、今後は実行していきたいといった前向きなコメントも寄せられました。



6月7日(金)

情報共有を大切に

救急カンファレンス

年に3回開催している救急カンファレンスの第1回目を開催いたしました。カンファレンスには62名が参加し、院内各部署職員と横浜市東消防署の救急隊や近隣医療機関の救急科医師等にもご参加いただき、救急搬送症例について意見を交わしました。今後も円滑な連携を構築して地域の救急医療を支えていきます。



管理栄養士の

れしび
メ
ディカル

Recipe No. 16

サラダは食べるように心掛けていますが、いつも同じ野菜ばかり…そんな方に紹介したいのがDASH食！ちょっと意識するだけでサラダで高血圧が予防できるんです。

DASH食の特徴は血圧を下げる効果のあるカリウムやカルシウム、

「DASH食(ダッシュ食)」で高血圧予防！
栄養満点サラダ

栄養価(1人前) / エネルギー320kcal / 蛋白質: 20.1g / 脂質: 5.9g
炭水化物: 51.4g / 塩分: 0.4g

材 料(1人前)

- ★フロッコリー: 70g
 - ★ミニトマト: 45g (約3個)
 - ★オクラ: 20g (約3本)
 - ★レタス: 30g
 - ★りんご: 60g (約1/4個)
 - ★ミックスビーンズ: 30g
 - ★もち麦: 30g
 - ★ノンオイルツナ: 60g
 - ★素焼きアーモンド: 5粒
- ※魚はサーモンや鯖水煮缶に変えても美味しいです。

レモンドレッシング

栄養価(1人前) / エネルギー: 126kcal /
蛋白質: 0.5g / 脂質: 13.0g /
炭水化物: 1.2g / 塩分: 0.8g



材 料(1人前)

- ★レモン汁: 小さじ1
- ★オリーブオイル: 大さじ1
- ★粒マスタード: 小さじ1
- ★塩: 少々

マグネシウムなどミネラル類と食物繊維や魚に含まれる不飽和脂肪酸(DHAやEPA)も積極的に取り入れる事で、相乗的に血圧を下げる効果が得られるという食事内容です。

具体的な食品で言うと野菜、果物、ナッツ、豆類、魚、低脂肪乳製品、穀類などが挙げられます。特に緑黄色野菜からはミネラルと食物繊維が同時に摂れるためオススメです。不足しがちな蛋白源は豆や魚など、欠かさず取り入れましょう。

おつまみ用のナッツ類は塩味が付いているので選ぶ際は無塩タイプ、素焼きの物を選ぶのがポイントです。



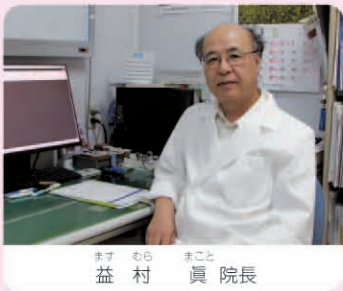
管理栄養士
伊藤 真奈



☑ 一般内科 ☑ 消化器内科 ☑ 循環器内科 ☑ 呼吸器内科

ますむら内科

白百合台団地
バス停
徒歩3分



ますむら まこと
益村 眞 院長

平成9年に白百合で開院して22年になります。病院勤務の頃は、消化器が専門でしたが開業後は、内科一般浅いながらも広い診療を心がけています。以前から話題にもなり、興味をもって診察しているものに低垂鉛血症があります。味覚障害、口内炎、摂食障害（特に高齢者）、風邪をひきやすい、傷が治り難い、皮膚炎、貧血、肝疾患、腎疾患などの一部に垂鉛不足が関係しており意外に多く認められます。予防は、食生活が大切で牡蠣に多く含まれますが、他にアーモンドなどのナッツ類、大豆、チーズ、肉なども比較的多いようです。

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	/	○	○	○
15:00~18:00	○	○	/	○	○	/

ますむら内科

〒245-0005 横浜市泉区白百合3丁目4-12
TEL: 045-811-2621

受付時間: 午前9:00~12:00 午後3:00~6:00
土曜午前9:00~12:00

休診日: 水・日・祝日、土曜午後



INFORMATION ((((()))))

国際親善総合病院よりお知らせ

健康懇話会 | 会場/国際親善総合病院 新棟2階講堂 時間/15:00~

7 / 12 (金) 変形性膝関節症について
~膝の痛みを治して楽しい毎日を~
整形外科医長 川崎 俊樹

8月 8月の健康懇話会は休会とさせていただきます。

9 / 13 (金) おみまいのときの声のかけ方(仮)
~spiritual careの観点から~
緩和ケア内科医長 佐藤 真彬

しんぜん院外健康教室 | 会場/横浜市泉寿荘 時間/10:00~

10/11 (金) よく耳にする症状“動悸”とはなんだろう
~心疾患が隠れている可能性について~
副院長・循環器内科部長 清水 誠

皆さまからの声

ご意見箱・入院アンケートにいただきました
皆さまからの声を一部ご紹介します。

第一駐車場入口: 満車の状態であることが分からず20分ほど待つてゲート前の運転者に聞いたら満車であるとの事でした。その後、空いている第2駐車場に止めた。**要望①** 満車の表示がわからないので大きくすると改善する。**要望②** 第一駐車場が満車であれば第2駐車場を案内するよう表示してほしい。



駐車場の満車・空車表示は入口に表示されております。ただし、第一駐車場の満車は概ね時間帯が決まっている為、その間は警備員に第二駐車場への誘導を強化するよう指示いたします。警備員の立ち位置についても臨機応変な対応を促し、改善に努めてまいります。





れんけい ニュース

RENKEI NEWS



排尿ケアサポートチーム

排尿ケアサポートチーム(以下CST)は2018年度より活動を開始しました。主な役割は、尿道カテーテルが留置された方を対象に、カテーテルを抜いた後に起こる様々な症状に対応し、患者さんの排尿自立を目指すことです。尿道カテーテルとは、尿を排泄させるため尿道から膀胱内に留置する管です。自力で排尿が難しい状況にある場合や、病気治療のために必要な

排尿ケアサポートチーム(CST)

場合、正確な尿量の把握が必要な場合などに使用されます。尿道カテーテルを留置することで、細菌感染のリスクや、動がなくなることで、寝たきりを誘発してしまったりスクがあります。そのため、できるだけ早期に尿道カテーテルを抜くことが推奨されています。尿道カテーテルを抜いた後、排尿に関連した問題(排尿障害)が生じることがあります。尿が自力で出せない、出しても膀胱に尿が残ってしまう、尿の回数が多い、尿がもれてしまう等、症状は様々です。このような場合には、オムツで対応したり、再度尿道カテーテルで対応したりすることがあります。しかし、排尿障害の原因を探り、その原因を取り除くことができれば、オムツやカテーテルは必要なくなります。そのためCSTでは医師、

看護師、作業療法士など多職種で連携し、それぞれの視点から排尿ケアに取り組んでいます。またCSTと病棟が協力することで、専門的なケアを患者さんの日常生活の場である病棟で継続することができます。現在は尿道カテーテルを留置した患者さんを中心に介入していますが、今後は尿道カテーテルの有無に関わらず、排尿障害のある方を対象に介入できるよう活動を続けていきたいと思えます。



ソーシャルワーカー 於久 修子

ソーシャルワーカーの於久です。小さい頃から水族館や動物園、牧場が大好きで、行く時間帯でもいられます。将来はのどかな場所でのんびり暮らしたいと思っています。

次回は看護師の高村千秋さんです。

地域医療連携部 自己紹介リレー

排尿障害の種類と対応例

尿が出せない・出し切れない	<ul style="list-style-type: none"> ・排尿パターンの把握 ・薬物療法
尿失禁	<ul style="list-style-type: none"> ・排尿パターンの把握 ・薬物療法 ・骨盤底筋訓練 ・リハビリ
尿の回数が多い(頻尿)	<ul style="list-style-type: none"> ・排尿パターンの把握 ・薬物療法
トイレ動作ができない	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリ

